	平成29年度 現行基準	平成29年度 被災地3県基準	コメン
1部	9. 標準作業能力	9. 標準作業能力	
章 1 節 工事費 資料-1)	工種名     標準作業能力等       4節本体工 4.1 ケーソン式	工種名     標準作業能力等       4節本体工 4.1 ケーソン式	
(工事) (上) (上) (上) (17)	1	1	

掲載頁		平成29年度 現行基準		平成29年度 被災地3県基準	コメント
第2章1節 直接工事費 (補足資料-1) 2-1-(18)	工種名	標準作業能力等 3) その他 供用日数は、製作サイクル数および仮設材搬入・搬出日数(2日)を考慮し算定する。	工種名	標準作業能力等 3) その他 供用日数は、製作サイクル数および仮設材搬入・搬出日数(2日)を考慮し算定する。	
	8節 消波工 2. 消波ブロックエ	消波ブロック製作日数  1. 製作日数算定式	8 節 消波工 2. 消波ブロックエ		

掲載頁		平成29年度 現行基準	平成29年度 被災地3県基準	コメント
第2章1節 直接工事費 (補足資料-1)	工 種 名 12節 土工	標準作業能力等	工 種 名 標 準 作 業 能 力 等 12節 土工	
2-1-(21)	2. ±I	①掘削       土質     施工方法     岩質     押土 障害 の 有無 の 有無 有無     施工数量     一次 保業日当り 表の の 有無 有無 有無 有無 有無 有無 有無	①据削       (1)	
		有り     一     普通士30,000m³未 満又は湿地軟弱土     一     320m³/日       オープン カット     30,000m³以上     一     710m³/日       50,000m³未満     一     300m³/日	有り     普通士30,000m³未 満又は湿地軟弱土     -     320m³/日       オープン カット     30,000m³以上     -     -     710m³/日       カット     50,000m³未満     -     -     240m³/日	
		無し	無し 無し 50,000m 以上 - 400m / 日 有り 50,000m 3 未満 - 152m 3 / 目 50,000m 3 以上 - 256m 3 / 日 片切掘削 220m 3 / 日	
		現場制約 4m³/日 上記以外 (小規模) 37m³/日 小規模 37m³/日 小規模	現場制約	
		(標準以外)	(標準以外) 15m <sup>7</sup> /日 岩塊 オープン - 無し 50,000m³未満 184m³/日 50,000m³以上 328m³/日 カット 50,000m³未満 - 112m³/日	
		玉石     現場制約 3m³/日       ②土砂等運搬	玉石     現場制約	
		土砂等 発生現場     積込機種 ・規格     土質 の有無     DID区間 の有無     運搬距離     作業日当り 標準作業量       0.3km以下     154m³/日 0.5km以下     133m³/日	上砂等     積込機種     土質     DID区間     運搬距離     作業日当り標準作業量       発生現場     ・規格     0.3km以下     154m³/日       0.5km以下     133m³/日	
		1.0km以下 118m³/目 1.5km以下 105m³/目 2.0km以下 91m³/日 3.0km以下 77m³/目 4.0km以下 67m³/目 4.0km以下 56m³/目 5.5km以下 56m³/目 6.5km以下 42m³/日 7.5km以下 42m³/目 9.5km以下 37m³/目 11.5km以下 32m³/目 11.5km以下 26m³/目 22.5km以下 21m³/日 49.5km以下 16m³/日	## 1.0km以下 118m³/目 1.5km以下 105m³/目 2.0km以下 91m³/目 3.0km以下 77m³/目 4.0km以下 67m³/目 4.0km以下 56m³/目 5.5km以下 56m³/目 6.5km以下 48m³/目 7.5km以下 42m³/目 9.5km以下 37m³/目 11.5km以下 32m³/目 11.5km以下 32m³/目 12.5km以下 26m³/目 22.5km以下 26m³/目 22.5km以下 16m³/目 22.5km以下 16m³/日 2	
		標準 山積0.8m³ (岩塊・玉石 (平積0.6m³) (岩塊・玉石 泥り土含む) (岩塊・玉石 泥り土含む) (岩塊・玉石 泥り土含む) (岩塊・玉石 泥り土含む) (岩塊・玉石 水り土含む) (岩塊・玉石 水り土含む) (岩塊・玉石 1.0km以下 133m³/日 1.0km以下 118m³/日 1.5km以下 105m³/日 2.0km以下 77m³/日 3.0km以下 56m³/日 6.0km以下 48m³/日 7.0km以下 42m³/日 8.5km以下 37m³/日 11.0km以下 32m³/日 11.0km以下 32m³/日 11.0km以下 110m³/日 11.0km以下 110m³/日 11.0km以下 26m³/日 11.0km以下 110m³/日 11.0km以下 110m³/日 11.0km以下 110m³/日 11.0km以下 110m³/日 11.0km以下 110m³/日 11.0km以下 110m³/日	標準 山積0.8m³ (岩塊・玉石 混り土含む) (岩塊以下 118m³/日 1.0km以下 118m³/日 2.0km以下 91m³/日 3.0km以下 77m³/日 3.0km以下 67m³/日 6.0km以下 48m³/日 7.0km以下 42m³/日 8.5km以下 37m³/日 11.0km以下 32m³/日 11.0km以下 32m³/日 11.0km以下 32m³/日 11.0km以下 26m³/日 19.5km以下 21m³/日 31.5km以下 16m³/日 60.0km以下 11m³/日	

平成29年度 東日本大震災の被災地で適用する漁港漁場関係工事積算基準 (H29.4.1)

掲載頁	平成29年度 現行基準	平成29年度 被災地3県基準	コメント
第2章1節 直接工事費	工種名    標準作業能力等	工種名標準作業能力等	
(補足資料-1) 2-1-(22)	土砂等 発生現場     ・規格     土質 の有無     DID区間 運搬距離     運搬距離 標準作業量     作業日当り 標準作業量       0.3km以下     200m³/日	土砂等     積込機種     土質     DID区間     運搬距離     作業日当り       発生現場     ・規格     カ有無     0.3km以下     200m³/日	
	1. 0km以下   167m*/日     1. 0km以下   125m*/日     1. 5km以下   125m*/日     2. 0km以下   111m*/日     2. 5km以下   100m*/日     3. 0km以下   83m*/日     3. 5km以下   77m*/日     4. 5km以下   56m*/日     6. 0km以下   37m*/日     7. 0km以下   32m*/日     10. 0km以下   37m*/日     12. 5km以下   20m*/日     10. 0km以下   37m*/日     12. 5km以下   20m*/日     10. 0km以下   21m*/日     10. 0km以下   11m*/日     10. 0km以下   21m*/日     10. 0km以下   11m*/日     10. 0km以下   11m*/日     11. 5km以下   200m*/日     11. 5km以下   167m*/日     1. 0km以下   143m*/日     1. 5km以下   125m*/日     1. 0km以下   143m*/日     1. 5km以下   100m*/日     2. 5km以下   100m*/日     3. 5km以下   100m*/日     3. 5km以下   100m*/日     3. 5km以下   100m*/日     3. 5km以下   100m*/日     4. 5km以下   100m*/日     3. 5km以下   100m*/日     3. 5km以下   32m*/日     4. 5km以下   32m*/日     5. 5km以下   32m*/日     1. 5km以下   32m*/日     3. 0km以下   10km*/日     3. 0km以下   10km*/	(平積1.0m²) 日 167m²/日 1.0km以下 143m²/日 1.5km以下 125m²/日 2.0km以下 125m²/日 2.0km以下 100m²/日 3.0km以下 77m²/日 4.5km以下 67m²/日 6.0km以下 56m²/日 7.0km以下 48m²/日 12.5km以下 32m²/日 10.0km以下 37m²/日 12.5km以下 32m²/日 10.0km以下 37m²/日 12.5km以下 32m²/日 10.0km以下 32m²/日 10.0km以下 15m²/日 10.0km以下 125m²/日 10.0km以下 143m²/日 10.0km以下 13m²/日 10.0km以下 13m²/日 10.0km以下 13m²/日 10.0km以下 13m²/日 10.0km以下 12m²/日 10.0km以下 12m²/日 10.0km以下 12m²/日 10.0km以下 12m²/日 10.0km以下 15m²/日 10.0km以下 10	
	(平積0.35m²) (一年の) (日本の) (日本の	(平積0.35m²) (大変の) (大変の	

掲載頁	平月	29年度 現行基準	平成29年度 被災地3県基準	コメント
第2章1節 直接工事費 (補足資料-1)	工種名	標準作業能力等	工種名    標準作業能力等	
2-1-(23)	士砂等 積込札 発生現場 ・規	各 工具 の有無 壁瀬阜離 標準作業量	土砂等     積込機種     土質     DID区間     運搬距離     作業日当り       発生現場     ・規格     土質     の有無     運搬距離     標準作業量	
	バック 山積0. (平積0	8m <sup>3</sup>   (岩塊・玉石   60.0km以下 4m <sup>3</sup> /日   60.3km以下 50.3/日   60.0km以下 50.3/日   60.0km以下 50.3/日   60.0km以下	(平積0. 2m²)	
	小規模 バック山積0.(平積0.	0.3km以下 22m³/目	小規模	

掲載頁	平成29年度 現行基準	平成29年度 被災地3県基準	コメント
第2章1節 直接工事費	工種名標準作業能力等	工種名  標準作業能力等	
(補足資料-1) 2-1-(24)	土砂等 発生現場     ・規格     土質 の有無     DID区間 運搬距離     作業日当り 標準作業量       0.3km以下     20m³/日	土砂等 発生現場     ・規格     土質 の有無     DID区間 運搬距離     作業日当り 標準作業量 0.3km以下       0.3km以下     20m³/日	
	現場制約 あり 大力 (岩塊・玉石 混り土含む) (岩塊・下 17m³/日 2.0km以下 11m³/日 2.0km以下 11m³/日 3.0km以下 11m³/日 4.0km以下 9m³/日 6.5km以下 7m³/日 11.0km以下 6m³/日 11.0km以下 2m³/日 16.0km以下 2m³/日 10.0km以下 2m³/日 11.0km以下 18m³/日 10.0km以下 18m³/日 11.0km以下 17m³/日 11.0km以下 17m³/日 11.0km以下 17m³/日 12.5km以下 14m³/日 1.5km以下 14m³/日 1.5km以下 11m³/日 1.5km以下 11m³/日 1.5km以下 10m³/日 1.5km以下 10m³/日 1.5km以下 10m³/日 1.5km以下 10m³/日 1.5km以下 7m³/日 1.5km以下 10m³/日 1.5km以下 10m³/日	現場制約 あり	
	③整地	③整地	
	作業区分 敷均し作業内容 作業日当り 標準作業量	作業区分 敷均し作業内容 作業日当り 標準作業量	
	残土受入れ地での処理     -     1,030m³/日       標準     760m³/日       敷均し(ルーズ)     標準以外     1,090m³/日       狭小幅員(幅2.5m以上4m未満)     140m³/日       トラフィカビリティが確保出来ない場合     620m³/日	残土受入れ地での処理     -     1,030m³/日       標準     608m³/日       敷均し(ルーズ)     標準以外     872m²/日       狭小幅員(幅2.5m以上4m未満)     112m³/日       トラフィカビリティが確保出来ない場合     496m³/日	
	(4) 路体 (築堤) 盛土	(4) 路体(築堤)盛土	
	施工幅員 作業形態 土質 施工数量 障害の有無 作業日当り 標準作業量 2.5m未満 50m³/日 2.5m以上 4.0m未満 86m³/日	施工幅員 作業形態 土質 施工数量 障害の有無 作業日当り 標準作業量 2.5m未満 40m³/日 2.5m以上 69m³/日	
	数均し+   数均し+   編固め	製均し+ 締固め     10,000m³ 未満 10,000m³ 以上 有り 以上 有り 288m³/日 10,000m³ 無し 288m³/日 10,000m³ 無し 280m³/日 末満 有り 128m³/日 10,000m³ 無し 280m³/日 末満 有り 128m³/日 10,000m³ 無し 表満 有り 128m³/日 10,000m³ 未満 有り 128m³/日 大 青り 128m³/日 大 長 有り 128m³/日 大 長 新 り り 上 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大	
	<u>料性土</u> <u>有り 130m³/日</u> 注)1. 上表は締固め後の土量である。 2. 敷均し作業の仕上り厚さは0.2~0.3mとする。	***	

掲載頁	平成29年度 現行基準	平成29年度 被災地3県基準	コメント
掲 載 頁 第 2 章 1 節 直接工事 (補足資料-1) 2-1-(25)	T. 種名	工 種 名	コメント
	平均施工幅 1m以上2m未満	平均施工幅 1m以上2m未満	

掲載頁	平成29年度 現行基準	平成29年度 被災地3県基準	コメント
第2章1節 直接工事費 (補足資料-1) 2-1-(26)	工種名     標準作業 作業 能力等       施工方法     土質     締固めの 有無 標準作業量       最小埋戻幅4m以上     -     -     270m³/日       最大埋戻幅4m以上     -     -     96m³/日       最大埋戻幅1m以上4m未満 -     -     -     61m³/日       最大埋戻幅1m未満 -     -     33m³/日       上記以外(小規模)     土砂 -     40m³/日	工種名     標準作業 作業 能力等       施工方法     土質     締固めの 作業日当り 標準作業量       最小埋戻幅4m以上     -     -     270m³/日       最大埋戻幅4m以上     -     -     96m³/日       最大埋戻幅1m以上4m未満     -     -     61m³/日       最大埋戻幅1m未満     -     -     33m³/日       上記以外(小規模)     土砂     -     40m³/日	
	その他       ショベル系掘削機の作業能力算定         1. クラムシェル       1)能力算定式	その他       ショベル系掘削機の作業能力算定         1. クラムシェル       1)能力算定式	
第2章1節 直接工事費 (補足資料-1) 2-1-(29)	参考資料-1       単体魚礁製作日数         1. 製作日数算定式       Cm=(Cm'-K)×M+K       (小数2位四捨五入)         Cm:1 サイクル当り製作日数(日)       Cm:1 サイクル当り製作日数(日)         M:陸上施工の場合;1.65       海上施工の場合;2.65         海上施工の場合;2.65       海上施工の場合;3.65         海上施工の場合;3.65       海上施工の場合;2.65         本日数       1サイクル当り基本日数         ブロック種類       型 枠 コンクリート	参考資料-1       単体魚礁製作日数         1.       製作日数算定式         Cm = (Cm'-K)×M+K       (小数2位四捨五入)         Cm : 1 サイクル当り製作日数(日)       Cm : 1 サイクル当り基本日数(日)         M : 陸上施工の場合; 1.65       海上施工の場合; 1.65         海上施工の場合; 1.65       海上施工の場合; 1.65         海上施工の場合; 1.65       海上施工の場合; 1.65         海上施工の場合; 1.65       海上加工の場合; 1.65         海上施工の場合; 1.65       海上流の場合; 1.65         海上施工の場合; 1.65       海上流の場合; 1.65         海上ボール・ファック       基生       型件         オフックリート       養生       型件         組 立       打設       基生         組 外 (Cm')       異形ブロック       0.5       5.11         注) 1. 現場条件により上記によりがたい場合は、別途決定する。	
第3章4節 本体工	2. ケーソン製作工 ケーソン製作工に含まれる代価表は、下表のとおりである。		
4. 1ケーソン式 3-4. 1-9	種別(レベル3) 細別(レベル4) 積算要素(レベル6) ケーソン製作用台船係留 1回当り ケーソン製作用台船運転 ケーソン製作用台船運転 1式当り 補助ヤード施設 1式当り 補助ヤード施設 1式当り アスファルトマット アスファルトマット 設置 アスファルトマット設置 (工場製作) アスファルトマット設置 (現場製作) アスファルトマット設置 (国場り) ゴム系マット設置 ゴム系マット(再生)設置 1面当り 支 保 支 保 組 立 組 外 支保組立組外 100m当り 内 足 場 架 払 内足場架払 100m2当り 内 足 場 架 払 内足場架払 100m2当り 株 筋 加 工 組 立 鉄筋加工組立 1,000kg当り 吊 鉄 筋 加 工 組 立 鉄筋が吊バー組立 1,000kg当り 吊 鉄 筋 組 立 組 外 鋼製型枠組立組外 100m2当り 吊鉄筋・吊バー組立 1,000kg当り 不会筋・吊バー組立 1,000kg当り アンクリート 陸上コンクリート打設 コンクリート打設 10m3当り		

十		(H 2 9 . 4 . 1)	<u> </u>
掲 載 頁	平成29年度 現行基準	平成29年度 被災地3県基準	コメント
第3章4節	2) 1 サイクル当り基本日数(Cm´)	2) 1 サイクル当り基本日数(Cm´)	
本体工 4.1ケーソン式 3-4.1-12	名 称     ケーソン製作用台船方式・陸上施工方式・海上打継方式       曽 通 ケ ー ソ ン     その他ケーソン       20マス     21マス以上     20マス       まで     30マスまで     まで       1 層当り基本日数 日     7.5     10     7.5       1 サイクル当り 。     6.0×層数     10.0×層数     7.5×層数	名 称     ケーソン製作用台船方式 ・陸上施工方式・海上打継方式       曽 通 ケ ー ソ ン     その他ケーソン       20マス     21マス以上     20マス       まで     30マスまで     まで       1 層当り基本日数 日     7.72     10.22     7.72       1 サイクル当り " 7.72×層数 7.72×層数     7.72×層数     7.72×層数	
	基本日数(Cm') " -2 -2 -2 -2 : : : : : : : : : : : : : :	基本日数(Cm')       " -2.11       -2.11       -2.11         注) 1.1層当り基本日数は、鉄筋加工組立~型枠外しまでの日数とする。       2.ケーソン製作用台船方式で同時製作函数3函以上の場合は、形状寸法、マス数、クレーン基数等を考慮して別途定めることができる。	
	3) 割増し日数 (K <sub>1</sub> )       同時製作函数     単位     ケーソン製作用台船方式・陸上施工方式・海上打継方式       普通ケーソン     その他ケーソン       30マスまで     20マスまで       4 函		
	4) 関連日数 (K <sub>2</sub> )	4) 関連日数 (K <sub>2</sub> )	
	名 称     単     ケーソン製作用台船方式・ 陸上施工方式     海上打継方式       普通ケーソン     その他ケーソン     普通ケーソン       30マスまで     20マスまで     20マスまで     21~30マスまで	名 称     単     ケーソン製作用台船方式・ 陸上施工方式     海上打継方式       位     普通ケーソン     その他ケーソン     普通ケーソン       30マスまで     20マスまで     20マスまで     21~30マスまで	
	ルーフィング敷設     日     0.5     -       アスファルト     工場製作     リ     1     -       マット設置     現場製作     リ     アスファルトマット製作日数を計上     -       ゴム系マット設置     リ     1     -       注水・仮置     リ     -     0.5       支保     組立     リ     -     1       足場     組立     リ     -     1       ハ*ラスト     砂・石材     リ     1     0.5	ルーフィング敷設     日     0.5     -       アスファルト     工場製作     リ     1     -       マット設置     現場製作     リ     アスファルトマット製作日数を計上     -       ゴム系マット設置     リ     1     -       注水・仮置     リ     -     0.5       支保     組立     リ     -     1       足場     組立     リ     -     1       ハ・ラスト     砂・石材     リ     1     0.5	
	材投入     コソクリート "     1     1       止 水 板 取 付 "     -     0.5     -       進 水 "     1     -     -       浮 上 "     -     0.5     1       注) 1. アスファルトマットまたはゴム系マットの設置がある場合は、ルーフィング敷設は計上しない。	材投入     コンクリート // 1.11     1.11       止 水 板 取 付 // - 0.5     -       進 水 // 子     1 - 0.5       子 上 // - 0.5     1       注) 1.7スファルトマットまたはゴム系マットの設置がある場合は、ルーフィング敷設は計上しない。	
	2. 海上打継方式で、スリット、異形ケーソンの場合は、現場条件を考慮して別途算定する。         4       ケーソン製作用台船方式・ 陸上施工方式 普通ケーソン その他ケーソン 普通ケーソン 30マスまで 20マスまで 30マスまで	2. 海上打継方式で、スリット、異形ケーソンの場合は、現場条件を考慮して別途算定する。	
	最終養生日数 日 6 注)1.最終養生日数とは、最終層の養生日数ならびに最終型枠組外の日数である。 なお、ケーソン製作用台船方式、陸上施工方式の進水を伴う場合の最終養生日数は、6日を 標準とするが、これにより難い場合には必要に応じて別途日数を加算することができる。 2.海上打継方式で、スリット、異形ケーソンの場合は、現場条件を考慮して別途算定する。 3.吊降し方式の場合は、現場条件を考慮して別途算定する。		

掲載頁	平成29年度 現行基準	平成29年度 被災地3県基準	コメント
第3章4節本体工	2-8-2 施工方法の選定 コンクリート打設方法は、以下に示す3方法とし、現場条件等を考慮し選定する。		
4.2ブロック式 3-4.2-11	施工区分 現場条件等 摘 要		
	直接打設 ミキサー車 ・本体方塊、蓋ブロック ・ミキサー車が打設現場へ搬入可能 する。 ・打設高さ (原則1.5m以下)		
	間接打設     ポンプ車       クレーン     ・直接打設が困難な場合		
	2-8-3 施工歩掛 1) 市場単価の算定 (1) ポンプ車打設の場合 市場単価は、1日当りコンクリート計画打設量(扱い量)により、下式で算定する。 ・市場単価=標準市場単価(ポンプ車)×(1+K) (小数1位切捨て) K:施工規模補正係数(物価資料による) (2) その他の打設方法の場合 ・市場単価=標準市場単価		
	2) 代価表 (1) コンクリート打設 10 m <sup>3</sup> 当 り	2) 代価表 (1) コンクリート打設 10 m <sup>3</sup> 当 り	
	A   形状寸法   数 量	数量       ボ クレーン     ミ キ サ 歯       な 陸上クレーン     賞与クレート       車 ー レーン     車	
	ポンプ車 " 10 市場単価	レデ・ィーミクストコンクリート     m³     10.1     割増しを含む       ポンプ車 " 10 ー ー 市場単価	
	コンクリート打設 クレーン抜き " - 10 10 - "	ポンプ車   10   -   -   市場単価	
	ミキサー車 " 10 "	ミキサー車 " 10 "	
	ラフテレーンクレーン または クローラクレーン (油) t吊 日 - <u>0.2</u> 標準運転時間	ラフテレーンクレーン     (油) tR 日 - 0.22 - 標準運転時間       または クローラクレーン     (油) tR 日 - 0.22 - 標準運転時間	
	貸与クレーン運転費     tR     " -   -   0.2   -         注) 1. クレーンの機種・規格は、「本節 2-3 クレーン規格の選定」による。	貸与クレーン運転費 + R # 0.22 -	
	(注) 1. クレージの機種・規格は、「本即 2-3 クレージ規格の選定」による。 2. 貸与クレーン運転費は、必要費用を計上する。 3. コンクリートの通常の養生を含む。ただし、特殊養生の必要がある場合は、別途計上する。	注) 1. クレーンの機種・規格は、 <b>「本節 2-3 クレーン規格の選定」</b> による。	

掲載頁	平成29年度 現行基準	平成29年度 被災地3県基準	コメント
掲 載 頁 第3章4節 本体工 4.3場所打式 3-4.3-8	平成29年度 現行基準  3-4-1 代価表作成手順 ・型枠設置・撤去クレーン類→ 施 工 区 分 の 選 定 ・②整件設置・撤去クレーン類→ 施 工 区 分 の 選 定 ・①施工区分 ・の設置場所  ①施工区分 ・供用係数 ・供用日数 ・機入型枠面積 ・型枠全面積 ・1日当り型枠使用料 ・現場条件 ・型枠質量、アウトリーチ等 → ク レーン類の決定  →①クレーン類の種類・規格	平成29年度被災地3県基準	コメント
	(陸上施工の場合) ・材料置場の有無 → 台 船 の 計 上 の 検 討 →⑤必要な場合は、 台船、引船を計上  (海上施工の場合) ④起重機船等船種・規格→ 引 船 規 格 の 決 定 →⑥引船の規格  ①施工区分 ③鋼製型枠賃料単価 ④クレーン類の種類・規格 → ⑤台船、引船の有無 ⑥引船の規格 ・供用係数		
	3-4-2 施工歩掛 1)型枠賃料の算定     鋼製型枠賃料単価= <u>a×P</u>	1) 型枠賃料の算定  編製型枠賃料単価= <u>a×P</u> (円/m²) (小数3位切捨て)  a:搬入型枠面積(m²) P: 1現場当り型枠賃料 (円/m²)  型枠1枚1目当り賃料×d+型枠1枚当り基本料 型枠1枚1目当り面積 (小数3位切捨て)  d:型枠供用日数(日) ※供用日数が30日未満の場合は30日とする。 d=Cm×サイクル数+搬入・搬出日数(2日) (小数1位切上げ)  A:型枠全面積(m²) ・1サイクル当り供用日数の算定 Cm=(Cm'-K)×M+K (小数2位四捨五入) Cm:1サイクル当り供用日数(日) K:養生日数(2日) M:陸上施工の場合;1.65 海上施工の場合;0件用係数) Cm':1サイクル当り基本日数(日)  内容型枠組立コンクリート打設養生型枠外し Cm' 日数3.0 1、11 2.0 1.0 7、11	
	<ul> <li>2)消耗費 消耗費は、型枠用金具、組立支保材、剥離剤、型枠用合板および溶接材料の費用であり、労務費の15%とする。</li> <li>3)クレーン類の規格の選定 クレーン類の規格は、型枠質量、アウトリーチ等の現場条件を考慮し、「第2章 工事費の積算、1節 直接工事費、付属資料-1 作業能力等、1.起重機船、クレーン等の規格と性能」により決定する。</li> </ul>		

掲 載 頁	平成29年度 現行基準	平成29年度 被災地3県基準	コメント
掲 載 頁  第3章4節 本体工 4.3場所打式 3-4.3-11	平成29年度 現行基準  3-6-3 施工歩掛 1)ケーシング損料 (1)ケーシングの規格  品 名 形状寸法等 摘 要 ケーシング φ 400mm 架台を含む  (2)ケーシング損料の算定 ケーシング損料= (ケーシング1日当り損料)×ケーシング延長× d ただし、ケーシング1日当り損料には架台を含み、別途算定する。	平成29年度 被災地3県基準  (2) ケーシング損料の算定 ケーシング損料=(ケーシング1日当り損料)×ケーシング延長×d ただし、ケーシング1日当り損料には架台を含み、別途算定する。 d:ケーシング供用日数(日) d=Cm×サイクル数+搬入・搬出日数(2日) (小数1位切上げ)  ・1サイクル当り供用日数の算定 Cm=(Cm'-K-L)×M (小数2位四捨五入) Cm:1サイクル当り供用日数(日) K:養生目数(2日) L:型枠外し日数(1日) M:陸上施工の場合;1.65	コメント
	M : 陸上施工の場合; 1.65 海上施工の場合; α (供用係数) Cm': 1 サイクル当り基本日数(日) 内容型枠組立コンクリート打設養生型枠外しCm' 日数3.0 1.0 2.0 1.0 7.0	M : 陸上施工の場合; 1.65 海上施工の場合; α (供用係数) Cm': 1 サイクル当り基本日数(日) 内容型枠組立 コンクリート打設 養生型枠外し Cm' 日数 3.0 1.11 2.0 1.0 7.11	
3-4. 3-12	2)代価表 (1)水中コンクリート打設(ケーシング打設) 10m³当り       名称     形状寸法     単位 50m³ 試 50m³ 試 100m³ 財 (20m² ) (20m² )	2)代価表       (1) 水中コンクリート打設(ケーシング打設) 10m³当り         名称       形状 寸法       単位       設計日当打設量         水中コンクリート       エックリート       エックリート       エックリートボ・ソフ・車       ブーム式 90~110m³/h       日 9.22       0.11	

掲載頁	平成29年度 現行基準	平成29年度 被災地3県基準	コメント
第 3 章 4 節 本体工	(4) 配管損料 1式当り		
4.3場所打式 3-4.3-13	名     称     形     状     寸     法     単位     数量     摘     要       配     管損料     径125mm     式     1       注) 1. 配管損料は、下式により算定する。配管損料 = 配管延長(本数) × {総打設量/標準日打設量} × [供用係数(2.14)×換算供用日当り損料] ({ } は小数1位四捨五入、[ ] は小数3位切捨て、全体は小数1位切捨て)なお、配管延長(本数)は、施工形態を勘案の上、搬入すべき必要延長(必要本数)とする。2. 施工条件により、上記算定により難い場合は、実状把握のうえ別途考慮する。		
	(5) 水中コンクリート打設(ポンプ車直接打設) 10 m 3 当 り	(5) 水中コンクリート打設(ポンプ車直接打設) 10 m 3 当 り	
	名 称     形状寸法       単位	名 称     形状寸法       単位     設計日当打設量       50m³ 末i	
	<u>31</u> <u>69</u> <u>180</u>   水 中 コンクリート	水 中コンクリート     28     62     162       水 中コンクリート     m³     10.6     割増しを含む	
	コンクリートホ°ンフ°車 ブーム式 90~110m³/h 日 <u>0.2</u> <u>0.1</u> 標準運転時間	コンクリートホ°ンフ°車 ブーム式 90~110 m³/h 日 0.22 0.11 0.11 標準運転時間	
	潜水士船 " D180PS型 3~5t吊 " <u>0.1</u> <u>0.1</u> 就業8H	潜水士船 " D180PS型 3~5t吊 " 0.11 0.11 就業8H	
	世話     役     人     0.3     0.1     0.1       特殊作業員     "     0.4     0.2     0.1	世 話 役 人 <u>0.33</u> <u>0.11</u> <u>0.11</u> 特殊作業員 " <u>0.44</u> <u>0.22</u> <u>0.11</u>	
	普通作業員 " 0.9 0.4 0.2	普通作業員 " 1.00 0.44 0.22	
	推 材 料   注)1. 水中コンクリートは、維材料の対象としない。 2. コンクリートの通常の養生を含む。ただし、特殊養生が必要な場合は、別途計上する。	雑 材 料 注)1. 水中コンクリートは、雑材料の対象としない。 2. コンクリートの通常の養生を含む。ただし、特殊養生が必要な場合は、別途計上する。	

#### 掲 載 頁 平成29年度 現行基準 平成29年度 被災地3県基準 コメント 4-4-2 施工方式 第3章4節 本体工 1) コンクリートの種類 4.3場所打式 コンクリートは、水中不分離性コンクリートとする。 3-4. 3-15 2) 施工方法 (1) 水中不分離性コンクリート打設 水中不分離性コンクリートの打設方式は、コンクリートポンプ車による打設を標準とする。 [打設概要図] 999 0 000 水中不分離性コンクリート 0 0000 4-4-3 施工歩掛 1) 代価表 「本節 4.3 場所打式、3.水中コンクリート、3-6-3 施工歩掛、2)代価表、(3)配管設 置撤去」を適用する。 (2) 配管指料 「本節 4.3 場所打式、3.水中コンクリート、3-6-3 施工歩掛、2)代価表、(4)配管損 料」を適用する。 (3) 水中不分離性コンクリート打設(ポンプ車直接打設) 10m³当り (3) 水中不分離性コンクリート打設(ポンプ車直接打設) 10m³当り 設計日当打設量 設計日当打設量 50m³以上 100m³未満 100m³以上 50m³以上 100m³未満 100m³以上 単位 単位 50m³ 未満 50m³ 未満 形状寸法 摘 名 称 名 称 形状寸法 要 標準日打設量 標準日打設量 69 180 62 162 31 28 水中不分離性コンクリート m 3 10.6 割増しを含む 水中不分離性コンクリート $m^3$ 10.6 割増しを含む ブーム式 ブーム式 コンクリートホ゜ンフ゜車 コンクリートホ゜ンフ゜車 標準運転時間 標準運転時間 日 0.2 0.1 0.1 0.22 0.11 0.11 90~110 m<sup>3</sup>/h $90 \sim 110 \,\mathrm{m}^{\,3}/\mathrm{h}$ 潜水士船 D180PS型 3~5t吊 0.1 0.1 0.1 就業8日 潜水士船 D180PS型 3~5t吊 " 0.11 0.11 0.11 就業8H 話 0.1 話 0.33 0.11 0.11 役 0.3 0.1 人 特殊作業員 特殊作業員 0.4 0.2 0.1 IJ 0.44 0.22 0.11 普通作業員 普通作業員 0.9 0.4 0.2 1.00 0.44 0.22 水中不分離性 水中不分離性 (0.3)普通作業員 (0.2)(0.1)注)2. 参照 普通作業員 (0.33)(0.22)(0.11)注)2. 参照 混和剤現場添加 混和剤現場添加 材 材 料 注) 1. 水中不分離性コンクリートの単価は、水中不分離性混和剤費用を含む。 注) 1. 水中不分離性コンクリートの単価は、水中不分離性混和剤費用を含む。 なお、コンクリート混練後の清掃等が必要な場合は別途計上する。 なお、コンクリート混練後の清掃等が必要な場合は別途計上する。 2. 水中不分離性混和剤等を現場で添加する場合に計上する。 2. 水中不分離性混和剤等を現場で添加する場合に計上する。 3. 水中不分離性コンクリートは、雑材料の対象としない。 3. 水中不分離性コンクリートは、雑材料の対象としない。 4. コンクリートの通常の養生を含む。ただし、特殊養生が必要な場合は別途計上する。 4. コンクリートの通常の養生を含む。ただし、特殊養生が必要な場合は別途計上する。

第3章5節 被覆・根固工 3-5-29 (1) ポンプ車打設の場合	
ポンプ車 $"$ 10 $ -$ 市場単価 コンクリート打設 $"$ $D$ $U$	摘 要   増しを含む   寸場単価
	格の選定」による。

掲 載 頁	平成29年度 現行基準	平成29年度 被災地3県基準	コメント
第3章6節 上部工 3-6-9	2-4 供用日数の算定 足場、型枠の各賃料単価の算出に適用する供用日数は、下式により算定する。 d = Cm×サイクル数(転用回数)+搬入・搬出日数(2日) (小数1位切上げ) d :供用日数(30日とする。 Cm: 1サイクル当り供用日数(30日とする。 Cm: 1サイクル当り供用日数(30日とする。 Cm: 1サイクル当り供用日数(30日とする。 Cm: 1サイクル当り共和日数(30日とする。 Cm: 1サイクル当り基本日数(30日とする。 Cm: 1サイクル当り基本日数(30日とする。 Cm: 1サイクル当り基本日数(30日とする。 (本) 1日	2-4 供用日数の算定 足場、型枠の各賃料単価の算出に適用する供用日数は、下式により算定する。 d = Cm×サイクル数(転用回数)+搬入・搬出日数(2日) (小数1位切上げ) d :供用日数(30日未満の場合は30日とする。 Cm:1サイクル当り供用日数(日) Cm=(Cm'-K)×M+K (小数2位四捨五入) Cm':1サイクル当り基本日数(日) K :養生日数(日) M :陸上施工の場合;1.65 海上施工の場合;α(供用係数)	
	構造形式     支保組立     鉄筋組立     型枠 打設     業生型枠組外組外     支保組外組外       重力式(無筋)     0.5     -     2.0     1.0     3.0     1.0     0.5     8       重力式(鉄筋)     0.5     2.0     2.5     1.0     3.0     1.0     0.5     10.5       鋼矢板式     1.0     2.0     3.0     1.0     3.0     2.0     1.0     13       枝橋式     4.5     7.5     7.5     1.0     9.0     3.0     3.5     36       注)     1.組杭式は、鋼矢板式を適用する。       2.棚式は、構造形式を考慮し、別途設定する。       3.セル式の場合は、構造形式を考慮し、重力式、鋼矢板式または桟橋式を適用する。	構造形式 支保 鉄筋型 枠 コンクリート 養生型 枠 支保 M M M M M M M M M M M M M M M M M M	
	2-5 補助ヤード施設 2-5-1 適用範囲 陸上施工で、資機材置場の確保ができない場合、補助ヤード施設として台船を計上することができる。 2-5-2 代価表作成手順 ・施工場所 (資機材置場の有無)  ・施工場の検討  ・ 必要な場合 補助ヤード施設を計上		
	・供用日数 ・供用係数 ・供用係数 ・供用係数 ・供用係数 ・供用係数 ・供用係数 ・供用係数 ・供用係数 ・供用係数 ・ 運 転 日 数 の 算 定 →①運転日数 ・ 1 式当り代価表		
	2-5-3 施工歩掛  1) 運転日数の算定     D = d ÷ α + 資材搬入・搬出日数(2日) (小数 2 位四捨五入)     D : 運転日数(日)     d : 供用日数     d = Cm×サイクル数         Cm: 1 サイクル当り供用日数     α : 供用係数		
	2)代価表         (1)補助ヤード施設 1式当り         名		

掲載頁		平成29年度 現行基準	平成29年度 被災地3県基準	コメント
第3章6節 上部工	2-12-2 陸上コンクリート打設 2-12-2-1 代価表作成手順			
3-6-26	・施工場所 -	→ 市場単価適用の検討 → 市場単価適用条件以外は 別途積算		
	・現場条件 -	<b>2-12-1-1</b> →		
	[ポンプ車打設の場合]	【第4章 市場単価】		
	・コンクリート計画打設量-	2-12-2-2 → 補 正 係 数 の 検 討 →①施工規模補正係数		
	・標準市場単価(ポンプ車) ①施工規模補正係数 -	↓		
	[クレーン打設の場合]			
	・クレーンの種類·規格 - 「2-3」	→ 選定クレーンと標準クレーン の比較		
	[陸上クレーンの場合]	<u> </u>		
	・標準市場単価(クレーン抜き)- ・クレーン機種・規格「2-3」	→ 代 価 表 の 作 成 →・コンクリート打設 10 m ³ 当り代価表		
	[ミキサー車打設の場合]			
	・標準市場単価(ミキサー車) -	→ 代 価 表 の 作 成 →・コンクリート打設 10m³当り代価表		
	2-12-2-2 施工歩掛 1) 市場単価の算定 (1) ポンプ車の場合			
	市場単価=標準市場単価(ポン	当りの平均打設量(扱い数量)により、下式で補正する。 プ車)×(1+K) (小数1位切捨て) 正係数(物価資料による)		
	(2) その他の場合 市場単価=標準市場単価			
	2) 代価表 (1) コンクリート打設 10m³当り		2) 代価表 (1) コンクリート打設 10 m <sup>3</sup> 当 b	
	名 称 形状寸法	位   クレーン     鉄筋   無筋   鉄筋   無筋   鉄筋   無筋	名     称     形状寸法     単     数     量       ポンプ車     陸 上 ミキサー車 クレーン     1 <t< th=""><th></th></t<>	
	レディーミクストコンクリート ポンプ耳 コンクリート打設 クレーン抜き ミキサー耳	<u> </u>	レディーミクストコンクリート     m³     10.2     10.3     10.2     10.3     10.2     10.3     10.2     10.3     割増しを含む       コンクリート打設     10 - 10 - 10 - 10     - 1	
	ラフテレーンクレーン または クローラクレーン (油) tfi		ラフテレーンクレーン または クローラクレーン     (油) t吊 日 - 0.22 - 標準運転時間	
		は、 <b>「本節 2-3 クレーン規格の選定」</b> による。 養生を含む。ただし、特殊養生の必要がある場合は、別途	注)1. クレーンの機種・規格は、 <b>「本節 2-3 クレーン規格の選定」</b> による。 2. コンクリートの通常の養生を含む。ただし、特殊養生の必要がある場合は、別途 計上する。	

掲 載 頁	平成29年度 現行基準	平成29年度 被災地3県基準	コメント
第3章6節 上部工 3-6-27	2-12-3 自積バケット打設 2-12-3-1 代価表作成手順 [コンクリート運搬の積算] 2-12-3-2		
	・現場条件 ・起重機船等の在港状況 ・ 起重機船等の在港状況		
	①起重機船等船種・規格 → 引 船 規 格 の 決 定 →②引船規格  ↓		
	2-12-3-2  ・往復平均えい航距離 → 代 価 表 の 作 成 →・コンクリート運搬 100m³当り代価表		
	↓		
	・標準市場単価 → 代 価 表 の 作 成 →・コンクリート打設 100m <sup>3</sup> 当り代価表		
	2-12-3-2 施工歩掛       1) コンクリート運搬作業能力等 1 日当り打設規模、バケット規格、バケット質量(積載コンクリート含む)、適用船種、クレーンおよび引船の運転時間は下表による。         往復平均えい航距離       1 日当り コンクリート コンクリート コンクリート コンクリート 1 日当り 打設規模 バケット規格 バケット質量 クレーン付台船 起重機船(非航旋回) 運搬量(Q)         0.9km以下 0.9kmを超え1.4km以下 1.4kmを超え1.8km以下 1.8kmを超え2.0km以下 0.9kmを超え2.0km以下 0.9kmと超え1.4km以下 1.8kmを超え1.4km以下 1.4kmを超え1.8km以下 1.4kmを超え1.8km以下 1.4kmを超え1.8km以下 1.4kmを超え1.8km以下 1.4kmを超え1.8km以下 1.4kmを超え2.0km以下 1.4kmを超え2.0km以下 1.4kmを超え2.0km以下 1.4kmを超え2.0km以下 1.8kmを超え2.0km以下 1.8kmを超点2.0km以下 1.8km以下 1.8kmを超点2.0km以下 1.8km以下 1.8km以下 1.8km以下 1.8km以下 1.8km以下 1.8km以下 1.8km以下 1.8km以下 1.8km以下 1.8km以	2-12-3-2 施工歩掛       1) コンクリート運搬作業能力等 1日当り打設規模、バケット規格、バケット質量(積載コンクリート含む)、適用船種、クレーンおよび引 船の運転時間は下表による。       往復平均之い航距離     1日当り 打設規模 パケット規格 パケット質量 フンクリート ブラト規格 パケット質量 クレーン付合船 起重機船(非航旋回) 運搬量 (Q)	
	2)代価表 (1) コンクリート運搬 100m³当り  名 称 形状寸法 単位 数 量 摘 要  ハーン付台船 または 重機 船 #維護剛		

掲載頁	平成29年度 現行基準	平成29年度 被災地3県基準	コメント
第3章6節 上部工 3-6-29	2-12-4-2 施工歩掛 1) コンクリート運搬 (1) 1日当り打設規模と適用船種等	2) コンカリート海柳作業能力学	
	2) コンクリート運搬作業能力等 台船の所要隻数、引船の所要隻数・運転時間およびクレーン運転時間の算定は、下式による。 (1) 引船1日当り所要隻数(隻/日) =	2) コンクリート運搬作業能力等 台船の所要隻数、引船の所要隻数・運転時間およびクレーン運転時間の算定は、下式による。 (1) 引船1日当り所要隻数(隻/日) =	
	1日当り打設規模 コンクリートバケット規格 Q q q。   起重機船等の T 日当り間	1 日当り打設規模       コンクリートパケット規格       Q       q       q。       起重機動等の計目当的         60m³以下       1.5m³       45m³       1.3m³       9m³/h         60m³を超え120m³以下       3.0m³       90m³       2.6m³       18m³/h       6時間         120m³を超え192m³以下       5.0m³       144m³       4.3m³       29m³/h       6時間	

掲載頁	平成29年度 現行基準	平成29年度 被災地3県基準	コメント
掲 載 頁 第3章6節 上部工 3-6-34	平成29年度 現行基準  2-12-6 基礎砕石 2-12-6-1 施エフロー	平成29年度 被災地3県基準	コメント
	名 称       形 状 寸 法       単位       数 量 摘 要         レデ (-ミクストコンクリート       m³ 10.4 割増しを含む         世 話 役       人 0.4         特殊作業員       n 0.8         普通作業員       n 1.2         雑材料       % 2 労務費の%         注) 1. レディーミクストコンクリートは、維材料の対象としない。         2. 維材料には、バイブレータ損料等を含む。	名称       形状寸法       単位数量       摘要         レディーシクストコンクリート       m³ 10.4       割増しを含む         世話の       人       0.44       割増しを含む         特殊作業員       n 0.89       事通作業員       財務         推材料       対       9% 2       労務費の%         注) 1. レディーミクストコンクリートは、維材料の対象としない。       2. 維材料には、バイブレータ損料等を含む。	

平成29年度 東日本大震災の被災地で適用する漁港漁場関係工事積算基準 (H29.4.1)

掲載頁	平成29年度 現行基準	平成29年度 被災地3県基準	コメント
第3章7節	(4) モルタル注入 10 m <sup>3</sup> 当 b	(4) モルタル注入 10m³当り	
付属工 (参考資料-1) 3-7-(3)	名     形状寸法     単位     数量     摘要       レディーミクストモルタル     m³     13     割増しを含む       台     船運転     鋼100 t積     日     -     1.1     就業8H	名     形状寸法     単位     数量     摘要       上レディーミクストモルタル     m³     13     割増しを含む       台     船運転     鋼100 t 積     日     -     1、22     就業8H	
	引 船 " 鋼D 200PS型 " - 1.1 運2H/就8H       グラウトポンプ 37~100 ℓ /min " 1.1 就業8H       発 動 発 電 機 排助 入対策型 45kVA " 1.1        潜 水 世 話 役	引 船 " 鋼D 200PS型 " - 1.22 運2H/就8H       グラウトポンプ 37~100 ℓ /min " 1.22 就業8H       発 動 発 電 機 排助 ス対策型 45kVA " 1.22 潜 水 世 話 役 人 0.11       潜 水 士 " 0.56	
	潜水送気員     " 0.3       潜水連絡員     " 0.3       特殊作業員     " 0.8       普通作業員     " 2.1       雑材料     % 1.5     空気圧縮機を含む	潜水送気員     " 0.33       潜水連絡員     " 0.33       特殊作業員     " 0.89       普通作業員     " 2.33       雑材料     % 1.5     空気圧縮機を含む	
	注)レディーミクストモルタルは、雑材料の対象としない。	注)レディーミクストモルタルは、維材料の対象としない。	

十八人 3 千万	を	(H 2 9 · 4 · 1)	
掲載頁	平成29年度 現行基準	平成29年度 被災地3県基準	コメント
第3章8節 消波工	2) コンクリート100m³当り打設歩掛(b)	2) コンクリート100m³当り打設歩掛(b)	
3-8-5	ブロック実質量(t)	ブロック実質量(t)	
	名 称 単位 2.5以下 2.5を超えて 5.5を超えて 11.0を超えて 25.0を超えて 50.0 摘要 5.5以下 11.0以下 25.0以下 50.0以下 を超える 1.0以下 25.0以下 50.0以下 50.0以	名 称 単位 2.5以下 2.5を超えて 5.5を超えて 11.0を超えて 25.0を超えて 50.0 摘要 5.5以下 11.0以下 25.0以下 50.0以下 を超える	
	世話役人     1.60     1.60     0.90     0.70     0.70       特殊作業員     2.90     2.90     2.90     1.80     1.50     1.40	世話役人 <u>1.78</u> <u>1.78</u> <u>1.00</u> <u>0.78</u> <u>0.78</u> 特殊作業員 " <u>3.22</u> <u>3.22</u> <u>3.22</u> <u>2.00</u> <u>1.67</u> <u>1.56</u>	
	普通作業員 " 4.80 4.80 4.50 3.50 2.70 2.50 (1.60) (1.60) (1.30) (1.00) (0.60)	普通作業員 " 5.34 5.34 5.00 3.89 3.00 2.78 (1.78) (1.78) (1.44) (1.11) (0.67) (0.67)	
	ラフテレーソクレーソ 日 2.30 1.80 1.70	ラフテレーンクレーン     日     2.56     2.00     1.89     -     -     -	
	クローラクレーソ 日 <u>1.20</u> <u>0.80</u> <u>0.60</u>	クローラクレーン 日 ー ー 1.33 0.89 0.67	
	注)1. 上記により難い場合は、別途考慮する。 2. 普通作業員欄の下段()書きは、一般養生にかかる人数で内数。 3. 一般養生とは、むしろ、シート掛け、養生剤程度のものである。 4. 給熱養生の必要がある場合は別途考慮する。その場合は一般養生にかかる普通作業員を除き別途加算する。 5. クレーンの機種・規格は、「本節 2-1-4-2 製作クレーンと製作転置クレーン」による。 3) 鉄筋および吊鉄筋加工組立市場単価「土木工事・鉄筋工(一般構造物)」を適用する。なお、市場単価には鉄筋荷卸し費用、およびクレーンを必要とする場合の賃料が含まれる。	注)1. 上記により難い場合は、別途考慮する。 2. 普通作業員欄の下段(`)書きは、一般養生にかかる人数で内数。 3. 一般養生とは、むしろ、シート掛け、養生剤程度のものである。 4. 給熱養血の必要がある場合は別途考慮する。その場合は一般養生にかかる普通作業員を除き別途がある場合は別途考慮する。 5. クレーンの機種・規格は、「本節 2-1-4-2 製作クレーンと製作転置クレーン」による。	
	4)雑材料 雑材料は、型枠剥離剤、インパクトレンチ、電力に関する費用、コンクリートバケット、バイブレータ、養生シート、ワイヤーロープおよび足場の費用であり、労務費に次表の率を乗じた金額を上限とする。    コックリート打設高さ(H) H<2.0m   2.0m≤H   平型   平型   平型   推材料率   3.0%   12.0%   13.0%   13.0%   12.0%   2.0m≤H   2.		
	5) 代価表 (1) 異形ブロック製作 10個当り		
	名     称     形状寸法     単位     数量     摘要       レテ゛ィーミクストコンクリート     m³     V×(1+W/100)×10     割増しを含む		
	型     枠     賃     料     m²     A×10       鉄     筋     kg     R:×(1+W/100)×10     割増しを含む		
	鉄     筋     kg     R: × (1+W/100) × 10     割増しを含む       吊     鉄     筋     kg     R; × (1+W/100) × 10     割増しを含む		
	鉄 筋 加 工 組 立 一般構造物 kg		
	一日   一日   一日   一日   一日   一日   一日   一日		
	特 殊 作 業 員 人 A×10×a/100 + V×10×b/100		
	普通作業員     人 A×10×a/100 +V×10×b/100		
	ラフテレーンクレーン     排出が ス対類型     日 A×10×a/100     標準運転時間       型 枠 工 用 )     (油) tR		
	ラファー 上 一 、製作転置用 )		
	クローラクレーン     (油) tR     日 A×10×a/100 +V×10×b/100     標準運転時間		
	雑 材 料 % 「本節 2-1-4-3 労務費の%		
	注)1. V:ブロック1個当りコンクリート設計量(m3) 2. A:ブロック1個当り型枠面積(m2) 3. R <sub>1</sub> , R <sub>1</sub> :ブロック1個当り鉄筋または吊鉄筋質量(kg) 4. a:型枠100m2当り組立組外歩掛(m2) 5. b:コンクリート100m3当り打設歩掛(m3) 6. W:材料割増率(%) 7. 数量は、小数3位四捨五入とする。 8. 材料割増率は、「本節 1-5-2 材料割増率」による。 9. 架台、ベッド等が必要な場合は、別途計上する。 10. 連結鉄筋、連結金具が必要な場合は、別途計上する。		

掲載頁	平成29年度 現行基準	平成29年度 被災地3県基準	コメント
第 3 章 1 3 節 舗装工 3-13-10	3-4-1-3 能工歩掛	3-4-1-3 施工少掛  1) 整件および執条の採用目数の資注 (1) 施設別スチールフォーム  型枠の独科単価の第的に適用する供用目数は、下式により事定する。  d = (a' = K) × M+K (小数2位包括正人)  d : は中イフル・留う業本日数(日)  K : 養布日故(日)  M : は用用数、1.65  1サイクル等り基本日数  内 宮 型特領や 2ッシード70 美 生 国特線外 所(a') 類 要 日 致 1.0 1.0 会長(6,15) 歌外しまでの日歌  注) ( ) 内の値は、冬季(気値10 C以下)における理枠の基本日数である。	

掲載頁	平成29年度 現行基準	平成29年度 被災地3県基準	コメント
第3章13節 舗装工 3-13-12	3-4-2-2 施工方式 施工方式は、以下のフローより選定する。ただし、現場条件等により大型機械舗設が困難な場合は、 簡易機械舗設もしくは人力舗設とする。		
	1) 舗設施工方式の選定フロー		
	コンクリート舗装 (施工方式) 選定フロースタート		
	6+ = 0, ++ T		
	舗設施工幅は?		
	3.0m以上 3.0m未満		
	1 レーン当りの 舗設面積は?		
	238㎡以上 238㎡未満		
	舗設施工幅は?		
	3.5m以上 3.5m未満		
	大型機械舗設 簡易機械舗設 人力舗設		
	2) 施工機械の組合せ		
	施工方式     施工 機 械     摘 要       敷 均 し     締 固 め     仕 上 げ		
	大型機械舗設 コンクリートスプレッタ ・コンクリートフィニッシャ コンクリートレヘ・ラ (3.0~7.5m) (3.0~7.5m) は 舗装厚が30cmを 超える場合に使		
	棒状 45mm 2.9kW ・センナル・イフ・レータ (3.5~8.5 m)		
	簡易機械舗設 人 力 ・バイブレータ		
	・バイブレータ     (3.5~5.0m)       平面 3.3kW     人 カ ・バイブレータ       人 カ 舗 設 人 カ ・バイブレータ     人 カ		
	大		
	注)コンクリートスプレッダは、ブレード式を標準とする。		
	ただし、施工場所等の制約によりブレード式により難い場合は、ボックス式を使用する。 3-4-2-3 施工歩掛	3-4-2-3 施工歩掛	
	1) 作業能力	1) 作業能力	
	(1)コンクリートフィニッシャ 1日当り舗設面積( $m^2$ /日)= $A \times T$ (小数1位四捨五入)	$(1)$ コンクリートフィニッシャ $1$ 日当り舗設面積( $m^2$ /日)= $A \times T$ (小数 $1$ 位四捨五入)	
	T:コンクリートフィニッシャの標準運転時間(h/日) A:コンクリートフィニッシャの1時間当り舗設面積(m²/h)	T:コンクリートフィニッシャの標準運転時間(h/日) A:コンクリートフィニッシャの1時間当り舗設面積 (m²/h)	
	$A = W \times v \times E$ (小数 3 位四捨五入)	$A = W \times v \times E$ (小数 3 位四捨五入)	
	W:舗設施工幅(m) v :コンクリートフィニッシャの作業速度( <u>22</u> m/h)	W:舗設施工幅(m) v:コンクリートフィニッシャの作業速度(20m/h)	
	E:舗設能力係数 (0.6)	E:舗設能力係数 (0.6)	
	(2) コンクリート簡易仕上機(簡易フィニッシャ): <u>150</u> m <sup>2</sup> /日(2回仕上げ)	(2) コンクリート簡易仕上機(簡易フィニッシャ): <u>135</u> m <sup>2</sup> /日(2回仕上げ)	
	(3) コンクリート人力舗設 : <u>75</u> m <sup>2</sup> /日	(3) コンクリート人力舗設 : <u>68</u> m <sup>2</sup> /日	

掲載頁	平成29年度 現行基準	平成29年度 被災地3県基準	コメント
第3章13節	(3)簡易機械舗設 1日( <u>150</u> m²)当り	(3) 簡易機械舗設 1日( <u>135</u> m²)当り	
	(3) 簡易機械舗設 1日 (150 m²) 当り  名 称 形 状 寸 法 単位 無 装 厚 摘 要	(3) 簡易機械舗設 1日 (135m²) 当り  名 称 形 状 寸 法 単位 数 量	
	名 称 形 状 寸 法 単位 30cm以下 30cmを超える 鉄網 鉄網 鉄網 有り 無し 割増しを含む 鉄 網 φ 6-150×150 m² "  7 ス 7 ァ ルト乳剤 PK-3 0	名 称 形 状 寸 法 単位 30cm以下 30cmを超える 鉄網 大網 鉄網 大網 大網 大網 大網 大網 大網 有り 無し を含む 鉄 網 φ 6-150×150 m² ー ー リアスファルト乳剤 PK-3 セ リ 3 3 6 6 6 世 通 作 業 員 リ 8 6 15 11 推 材 料	
	<ul> <li>3-4-3 初期・後期養生</li> <li>3-4-3-1 施工方式</li> <li>コンクリート舗設に含む養生は、以下の施工方式による初期養生と後期養生を行うものである。</li> <li>1) 初期養生 薬液養生 (ビニール養生) 方式であり、コンクリート版表面に膜養生 (ビニール) を行い、ビニール乳剤原液を散布する養生方法である。</li> <li>2) 後期養生 給湿養生 (マット養生) 方式であり、初期養生の後、マットをコンクリート表面に拡げ、水を1日2回散水する養生方法である。 なお、マットが常にぬれていること、およびコンクリートの表面が露出しないよう処置しなければならない。</li> </ul>		

掲載頁	平成29年度 現行基準	平成29年度 被災地3県基準	コメント
第3章14節	(3) 防食カバー取付(既設) 10本当り		
維持補修工 (参考資料-1) 3-14-(3)	名 称 形 状 寸 法 単位 <u>数 量</u> 摘 要		
	防食カバー φ= 、μ= 本 10		
	溶 接 機 D300A 日 3.3		
	潜 水 世 話 役 人 1.0		
	潜 水 士 " 9.5		
	潜水送気員 "4.8		
	潜水連絡員 "4.8		
	普通作業員		
	クレーン付トラック 4 t 積、2.9 t 吊 日 4.8 標準運転時間 (2.9 t 吊 の) (2.9 t 円 等機 かまま)		
	雑 材 料   %   1.0   空気圧縮機を含む		
	(4) モルタル注入(既設) 10m³当り	(4) モルタル注入(既設) 10 m <sup>3</sup> 当 b	
	名 称 形 状 寸 法 単位 <u>数 量</u> 摘 要	名 称 形 状 寸 法 単位 <u>数 量</u> 摘 要	
	レデ゛ィーミクストモルタル m³ 13 割増しを含む	レディーミクストモルタル     m³     13     割増しを含む	
	グラウトポンプ 37~100 l/min 日 <u>4.0</u> 就業8H	グラウトポンプ 37~100 l/min 日 <u>4.44</u> 就業8H	
	発 動 発 電 機 45kVA " <u>4.0</u>	発 動 発 電 機 45kVA " 4.44	
	潜水世話役 人 0.7	潜 水 世 話 役 人 0.78	
	潜水 士 " 6.7	潜水 士 " 7.44	
	潜水送気員 " 3.4	潜水送気員 "3.78	
	潜水 連 絡 員	潜水連絡員 "3.78	
	17 / 11 / 12 / 1	特殊作業員     " 1.89       普通作業員     " 2.11	
	クレーン付トラック 4 t 積、2.9 t 吊     日     3.4     標準運転時間       雑     材     料     %     1.0     空気圧縮機を含む	クレーン付トラック 4 t 積、2.9 t 吊     日     3.78     標準運転時間       雑     材     料     %     1.0     空気圧縮機を含む	
	注)レディーミクストモルタルは、雑材料の対象としない。	注)レディーミクストモルタルは、雑材料の対象としない。	
		LITETA CONTRACTOR SECOND	
L		•	

載 頁				<u>7</u>	平成 2 9	年度 玛	見行基準								平成	29年度	被災	地3県基	準				
第3章15節	2)コンクリート100m <sup>3</sup> 当り打設歩掛(b)												2)コンクリート100m <sup>3</sup> 当り打設歩掛(b)										
魚礁工 3-15-5	] [					ブロック	実質量(t)										ブロック	実質量(t)					
		名 称	単位	2. 5以下	2.5を超えて 5.5以下	5.5を超えて 11.0以下	11.0を超えて 25.0以下	25.0を超えて 50.0以下	50.0 を超える	摘要		名	称	単位	2. 5以下	2.5を超えて 5.5以下	5.5を超えて 11.0以下	11.0を超えて 25.0以下	25.0を超えて 50.0以下	50.0			
	1	世 話 役		6.00	5.70	5.40	4.40	<u>2.60</u>	1.20				話 役	-	6.67	6.33	6.00	4.89	2.89	1.33			
	I -	特殊作業員普通作業員		7.60	7.30	6.80	5. 60	3.30	1.50				作業員作業員		8.44	8.11	7.56	6.22	3.67	1.67			
		肯 畑 NF 来 貝	"	13. 60 (1. 60)	13.10 (1.60)	$\frac{12.20}{(1.30)}$	10.00 (1.00)	6.00 (0.60)	2.80 (0.60)			一 世	TF 来 貝	,,,	15.11 (1.78)	14.56 (1.78)	13.55 (1.44)	(1.11)	6.67 (0.67)	3.11 (0.67)			
		ラフテレーンクレーン (コンクリート工用)	日	4.70	4.60	4.30	_	_	_				-ンクレーン -ト工用)	日	5. 22	5.11	4.78	_	_	-			
		クローラクレーン (コンクリート工用)	"	_	_	_	3.60	2.40	1.40				ラクレーン -ト工用)	"	_	_	_	4.00	2.67	1.56			